

水源郷 わくわく通信

第10号

ダム活用に向けて
意見交換会を
行いました！

この水源郷わくわく通信は、
水源地域ビジョンの取り組みの
様子を、皆さまにお知らせする
ために発行するものです。

発行：平成30年4月2日

お問い合わせ先：国土交通省 関東地方整備局 鬼怒川ダム統管理事務所 調査課
宇都宮市平出工業団地14-3 電話：028-661-7764

④ 水源地域ビジョンとは.....

「水源地域ビジョン」は、ダム水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定主体となり、下流の自治体・住民や関係行政機関に参加を呼びかけながら策定する水源地域活性化のための行動計画です。

鬼怒川上流地域のダムを地域活性化に活用するため、 関係者の皆様と意見交換会を行いました。

わくわく通信9号（平成29年9月発行）でもお伝えしましたが、鬼怒川上流ダム群では、ダムを地域資源として活用するダムツアーが行われはじめています。鬼怒川上流ダム群をより地域に開かれたものとし、来年度実施されるJRのデスティネーションキャンペーンにも活かすため、今回は、ダム愛好家の星野夕陽氏、井上よしひさ氏をお招きして、関係者の皆様とダムの活用について意見交換会を行いました。意見交換会では、鬼怒川上流ダム群が首都圏にある優位性や観光地域にある優位性などが指摘され、鬼怒川のダムの魅力や今後の課題を共有することができました。

※井上よしひさ氏



漫画「ダムマンガ」の作者でダム愛好家。ダムに関連するイベントやトークショーなどにも出演する。「ダムマンガ」は、ダムが好きな女子高生たちを主人公として、ダムの魅力やダムの果たす役割を紹介している。

※星野夕陽氏



平成29年6月に現地（五十里ダム・川治ダム等）でダムの楽しみ方などをご教授いただき、今回もお越しいただきました。日本ダム協会任命ダムマイスター。

五十里ダム



ダム見学&歴史探訪ツアー（H29/4～11月に計31回開催）

川治ダム



栗山の絶景とダムの旅（H29/9月開催）

湯西川ダム



川俣ダム



川俣ダムライトアップイベント（H29/10月開催）

○意見交換会参加者一覧（順不同）

【ダム愛好家】

星野夕陽氏
井上よしひさ氏

【旅行会社】

JTB 関東
東武トップツアーズ

【地元エコツアーズ会社等】

ネイチャープラネット
くりやまGO 企画
栗山地域おこし協力隊
日光那須アウトドアサービス
NAOC
鬼怒川タクシー
川治観光タクシー

【関係機関等】

鬼怒川・川治・湯西川・川俣・
奥鬼怒川IDC 推進協議会
日光市観光部観光振興課
栃木県国土整備部砂防水資源課
国土交通省鬼怒川ダム統管理事務所

意見交換会で話された主な内容

【首都圏にある優位性・観光地域にある優位性を活かす】

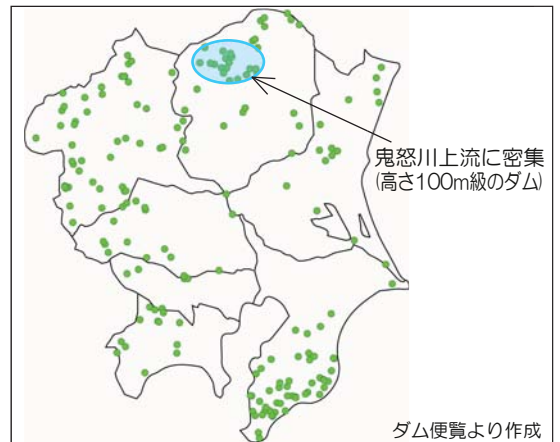
意見交換会では、“鬼怒川上流ダム群の魅力” “ダムツアーを実施した手ごたえ”などを話題とし活発な議論がなされました。特に、ダム愛好家の方から、鬼怒川上流は、国土交通省が管理する4つのダム以外にも栃木県や東京電力が管理するダムがあり、関東の中でも屈指のダム集中地域であることや東武鉄道や野岩鉄道が整備され、都心から手軽に短時間に訪れることができるとの指摘を受け、「ダムが集中しているので主要なダム形式が気軽に見られる」「都心からアクセスしやすくダムの勉強にはうってつけ」など鬼怒川上流での魅力をお話いただきました。

昨年ダムツアーを実施した地元エコツアー会社等からは、始まったばかりで採算的には難しいが、ダムを魅力ある観光資源として活用していくための伸びしろは大きいと期待感を語っていました。特に、鬼怒川上流地域には、年間237万人※の観光客が来訪しており、観光地域の中にダムある優位性を活かして、他の観光資源と組み合わせながらダムツアーを展開していきたいとの意見も出ていました。また、ダムツアーを地域活性化に結びつけるには、宿泊需要を生み出す工夫が必要との指摘もいただいています。

※観光地域（日光市統計書の平成28（2016）年の観光客入込数のうち、藤原地域と栗山地域との合計値）



平成30年1月13日に実施された意見交換会



関東地方におけるダムの位置
※房総半島にも多くのダムが密集しているが低いアースダムが多い

ダム便覧より作成

【本家本元の黒部ダム、SL（蒸気機関車）との組み合わせ】

鬼怒川上流ダム群には、栃木県や東京電力が管理するダムもあります。その中で、栗山地区にある黒部ダム（東京電力管理）は、大正元（1912）年に完成した100年以上前のダムであり、有名な富山県・立山にある黒部ダム（昭和38（1963）年）よりも半世紀前に造られています。ダム愛好家の井上さんが書かれたダムマンガでも、鬼怒川にある黒部ダムの話を第1巻で紹介しています。今回の意見交換会でも黒部ダムの歴史性を活かしていく提案がありました。

意見交換会では、昨年から運行されたSLとダムを組み合わせたツアーを考え、ダムファンと鉄道ファンとを取り込みながら楽しい旅行商品を造り上げていくことも考えられるなどのアイデアも出ていました。



大正元（1812）年完成の黒部ダム



井上よしひさ著の「ダムマンガ」（少年画報社発行）



鬼怒川温泉駅で楽しめるSL

国土交通省では、公共施設を観光資源ととらえたインフラツーリズムを全国的に推進しています。

（右記アドレス参照：<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/infratourism/index.html>）

鬼怒川上流ダム群でも、地域と連携してダムを活用し、地域のさらなる活性化の足がかりにしていきたいと考えています。